

平成 29 年 7 月 18 日

当社のネットキャッシュ倍率について

日本証券金融株式会社

一部の雑誌記事において企業の財務状況、特にネットキャッシュ倍率（ネットキャッシュの時価総額に対する割合）について取り上げられております。この度は、投資家の皆様に正しくご理解いただきたく、当社の財務状況についてご説明いたします。

「ネットキャッシュ」は、一般的には貸借対照表の資産の部に計上される「現金及び預金」「有価証券」等から、負債の部に計上される「短期借入金」等を差し引いた金額となります。当社の平成 29 年 3 月末現在の連結貸借対照表では、「現金及び預金」が 1 兆 767 億円、「有価証券」が 2,384 億円ある一方、一般的な企業における有利子負債である「短期借入金」「コマーシャルペーパー」等の金額の合計が 2,020 億円しかないため、これらを機械的に差引きした金額をネットキャッシュとしてネットキャッシュ倍率を計算すると約 19 倍となります。

しかしながら当社の「現金及び預金」の太宗は、子会社である日証金信託銀行において、お客様からお預かりした信託勘定の資金のうち、待機資金となっているものを日本銀行の当座預金等に預入しているもので、その資金の見合いは負債の部の「信託勘定借」(1 兆 950 億円)でございます。

「信託勘定借」は、お客様からお預かりした資金のうちの待機資金となっているものであることから、当社が自由に処分等を行える性格のものではなく、また普通預金金利相当の利息をお支払している有利子負債であります。本来、ネットキャッシュを計算するうえでは、この「信託勘定借」も借入金等と同様に控除すべきものと考えております。

以上から、当社の実勢を反映したネットキャッシュおよびネットキャッシュ倍率は下記のとおりとなります。

投資家の皆様には、何卒ご理解のほどよろしくお願いいたします。

以 上

単位: 百万円

資産の部		
	現金及び預金	1,076,761 (a)
	有価証券	238,498 (b)
(a)+(b)		1,315,259 ①

ネットキャッシュ: ①－②＝ **18,195** 百万円 ③

ネットキャッシュ倍率

: ③÷時価総額＝ **0.31** 倍

(時価総額＝592円×1億株)

負債の部		
	短期借入金	13,010 (c)
	コマーシャル・ペーパー	185,000 (d)
	信託勘定借	1,095,054 (e)
	長期借入金	4,000 (f)
(c)+(d)+(e)+(f)		1,297,064 ②